

事業番号	05 08 23	事業改善シート（28年度実施事業分）				<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	西駒郷管理運営事業					担当課	部局	健康福祉部	
総合5か年計画	プロジェクト				課・局・室		障がい者支援課		
	施策の総合的展開	6－2 いきいきと安心して暮らせる社会づくり			E-mail		shogai-shien@pref.nagano.lg.jp		
		2 障がい者支援の充実			実施期間	S43 ～			
人口定着・確かな暮らし実現総合戦略	信州創生の基本方針								
	施策展開								

1 事業の概要

目指す姿	・重度の障がい者など特別な支援が必要な障がい者に対する施設入所支援をはじめ、全県のセーフティネット機能としての役割を果たす。 ・利用者が抱える課題やニーズに対応した適切なサービスを提供し、障がい者の自立した日常生活・社会生活に向けた支援を行う。 ・利用者及び家族の意向に沿い、地域の関係支援機関との連携のもと円滑な地域生活移行の支援を行う。											
現状 （予算編成時）	・西駒郷基本構想(平成15～24年度)に基づき地域生活移行を推進し、平成26年度末までの移行者数は累計で291人、入所利用者数はピーク時の490人から104人に減少している。 ・障がいの程度が重度などのため地域生活移行が困難な利用者の割合が高くなっている。											
県が関与する理由	県関与の必要性あり		【左記の説明、根拠法令等】 重度の障がい者など特別な支援が必要な障がい者に対応するセーフティネットの機能を果たす必要がある。 県民との協働による実施：実施は困難									
成果目標・事業内容	① 成果目標(H28)											
	・入所利用者数:104人(地域生活移行を推進するため減の場合達成) 地域生活が困難な重度の入所利用者が多く、また、新規入所のニーズもあり、大幅な減少は見込めないことからH26末と同値とした。 ・通所利用者数:108人(地域生活移行を推進するため増の場合達成) 近年増加傾向にあることからH27末より4人増の108人とした。 ・入所利用者及び保護者の満足度80%以上(顧客満足度調査(支援員の対応)における「満足」の回答割合)											
	② 事業内容 (単位:千円)											
	項目		実施方法	H28事業実績		H28		H29				
						(当初)	(決算)	(当初)				
	指定管理委託料		指定管理	西駒郷の管理運営を指定管理者((社福)長野県社会福祉事業団)に委託		277,830	277,830	281,693				
	指定修繕委託料		指定管理	①体育館床改修工事②ひまわり棟サッシ改修工事③駒ヶ根1号棟ボイラー改修工事 指定管理者へ委託		67,770	62,606	34,363				
	西駒郷あり方検討委員会(仮称)設置事業		直接	西駒郷の今後のあり方について有識者を含めて検討		611	560					
	第三者評価経費		直接	指定管理者制度の第三者評価を実施		91	60					
	備品購入等							5,370				
					合計	346,302	341,056	321,426				
事業コスト	区	分(単位:千円)	27年度	28年度	29年度	成果目標の達成状況						
	予算額	前年度繰越				項目	H26末	H27末	H28			H29 目標
		当初予算	278,277	346,302	321,426				目標	成果	達成状況	
		補正予算										
		合計(A)	278,277	346,302	321,426							
	Aの財源	一般財源	278,006	346,040	288,042	入所利用者数	104人	101人	104人	102	達成	—
		県債			30,000							
		国庫支出金										
		その他	271	262	3,384							
	決算額(B)		278,197	341,056		通所利用者数	106人	104人	108人	101人	未達成	—
	概算人件費	職員数(人)	0.50	0.50	0.65							
		概算人件費(C)	4,138	3,957	5,144							
	概算事業費(B(A)+C)		282,335	345,013	326,570							
						利用者満足度	81%	86%	80%	83%	達成	—
目標に対する成果の状況	・セーフティネットとしての新規の受入れを行う一方、地域生活移行を進め、入所利用者数は前年度比1人のみの増加となった。 ・通所利用者数は、上伊那圏域における民間通所サービス事業者の充実等により前年度比3人の減少となった。 ・利用者満足度は、個々のニーズに沿った個別支援計画に基づき支援を行ったことから、8割以上の利用者が満足しているという結果となった。											

2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施
	・引続き地域生活移行を進めるとともに、利用者個々の特性やニーズに沿った支援を行っていく。 ・通所サービスについては、今後も地域の実情に合ったサービスを提供していく。 ・H28年度に実施した西駒郷あり方検討会の報告書を受け、西駒郷が今後果たすべき役割・機能について県の方針を決定し、実現に向けた必要な検討を行う。